

世界“知的”遺産——西谷文庫

門 脇 健 (教授・宗教学、宗教哲学)

このたび本学の図書館に宗教哲学者西谷啓治先生の残された蔵書のほぼすべてが収蔵され「西谷文庫」として公開されることになった。これは画期的な事件である。20世紀を代表する宗教哲学者である西谷先生の研究の跡が目当たりでできるのだから、と申し上げても、今の学生諸君にはピンとこないかもしれない。なにしろ、先生の宗教哲学はまったく独特のものであったから、その思索にじかに触れていないと、その凄さ・深さが十分に理解されない性質のものだからである。それゆえ、私なども、西谷先生の思想を学生諸君にうまく伝えられていない。というわけで、学生諸君が西谷啓治と聞いても「ピンとこない」のは、我々の責任であって、学生諸君の責任ではない。

このたび『西谷文庫目録』を作成するにあたって、先生の蔵書の書き込みを「覗く」と

いう機会を得たのであるが、「これはかなわない」、といきなり降参してしまった。宗教や宗教学そして哲学の本が揃えられているのはもちろんであるが、歴史、文学や政治それに自然科学に関する本さえもが揃えられ、そして丹念に読み込まれて、批判されているのである。先生は深夜に読書にふけられたと伝えられるが、それは、さまざまな分野の世界的学者との壮絶な知的格闘の時間であったのである。そのような知的格闘から、無数のメモが作成され、大河のようにゆったり流れる講義がなされ、そして英語・ドイツ語・スペイン語・イタリア語に翻訳された『宗教とは何か』が生まれたのである。

なんだか凄そうだな、と思った人は、まずは岩波現代文庫『宗教と非宗教の間』でウォーミングアップをして、そして西谷啓治著作集に挑戦してみてください。

刊行物のご案内

『西谷文庫目録』

和書の部・洋書の部 2分冊 11,000円
CD-ROM版 5,000円



図録『大谷大学博物館 開館記念特別展 古典籍の魅力—大谷大学の名品—』

1,000円

図録『2004年度特別展 京の文化人とその 遺産—神田家の系譜と蔵書—』 1,500円

